

令和4年第2回小坂町議会（定例会）議事日程 第2号

令和4年3月10日（木） 午前10時開議

◎ 一 般 質 問

- (1) 5番 菅原明雅君
- (2) 8番 鹿兒島 巖 君
- (3) 6番 秋元英俊君
- (4) 3番 本田佳子君

令和4年3月9日招集

第2回小坂町議会（定例会）

発 言 通 告 書

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
1	5	菅原 明雅	一般質問	町 長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 「健康寿命」について</p> <p>2. 「令和3年度秋田県『コミュニティ生活圏形成事業』小坂町報告会」について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>昨年12月21日付の「秋田魁新報」で、本県の「健康寿命」が飛躍的に向上したと報道されました。前回調査(2016年)に比べ今回調査(2019年)では男性が71.21才(最下位)から72.61才(26位)に、女性が74.53才(33位)から76.00才(15位)に伸びたという明るいニュースでした。秋田県は「目指せ『健康寿命』日本一」を標榜し、その成果があらわれたものと考えます。そこで以下の質問と提案をいたします。</p> <p>1. 「健康寿命」の定義と成果を上げた秋田県の主な施策をご教示願いたい。</p> <p>2. 本町の「健康寿命」の実態と「健康寿命」を伸ばす施策があればお示し願いたい。</p> <p>3. 老人の社会参加活動を推進し、「目指せ『健康寿命』秋田県一」を標榜してはいかがか。健康に長生きしたいというのは多くの町民の願いであり、健康保険や介護保険の軽減という観点からも有効かと思われます。(提案)</p> <p>本年1月15日「セパーム」で開催された、「令和3年度秋田県『コミュニティ生活圏形成事業』小坂町報告会」はすばらしい報告会でした。特に若い4人のパネリストの発表や意見は、地域や町の将来を思う情熱が伝わってきて、頼もしさを感じる会でもありました。すばらしい事業ですので、町民の一人として応援いたしたく、または是非成果ある事業にさせていただきたく、質問いたします。</p> <p>1. この事業の概要と「川上地区」を指定した理由をお伺いしたい。</p> <p>2. いくつかの提案がなされましたが、「持続可能なコミュニティ生活圏形成」という観点からすれば、ポイントとなる項目(資料)は「農林漁」(働く場・雇用)の強化だと私は考えますが、いかがお考えか。</p> <p>3. 具体的には「農事組合法人(並びに認定農家)」の強化が、農村部の持続的なコミュニティ形成には必要不可欠だと考えます。また「農事組合法人(並びに認定農家)」の強化は川上地区に限らず、本町の「農林漁」や他の農村部のコミュニティの強化につながるものでもあります。「農事組合法人(並びに認定農家)」の強化のためには、グローバルな視点からの県の支援や指導が必要だと考えますが、いかがでしょうか。</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
2	8	鹿兒島 巖	一般質問	町長・教育委員会の教育長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 非正規職員の処遇改善にかかわって</p> <p>2. 子育て支援策として学校給食の完全無償化を</p> <p>3. 地産地消の推進に関わって、学校給食での一層の取り組みを</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>令和2年2月議会で、地方公務員法の改正に伴う臨時職員等の採用方法が新たに法制化されたことにより、会計年度職員非常勤特別職員及び臨時職員の採用方法についての条例改正に関わって質問したところであるが、その後の経過を踏まえて質問し、提案したい。</p> <p>1. 全職員に占める非正規職員の割合はどうか。その割合をどう捉えているか。</p> <p>2. 非正規職員の男女の割合はどうなっているか。この割合をどう捉えているか。</p> <p>3. 男女共同参画社会へ向けての町の取り組みとしてこの状況をどう捉えているか。</p> <p>4. 同一労働同一賃金とのかかわりをどう捉えているか。</p> <p>(提案)</p> <p>1. 必要な職種、常勤的勤務職種は正規採用とし、非常勤採用は短期・短時間勤務職種に限定すること。</p> <p>2. 同一労働同一賃金の観点から賃金を見直し、処遇の改善を行うこと。</p> <p>この課題についてはこれまで何度か取り上げ、令和2年9月議会での答弁では、「平成28年度から学校給食の半額助成を実施してきたが、今後についてはその他の子育て支援・教育支援とも関わってどのような支援が必要か総合的に検討したい。」との答弁であった。</p> <p>しかし昨今の子どもの置かれている状況を考えれば、まず食育での支援の強化は必要と考える。完全無償化への決断を求めたい。</p> <p>町は「地産地消と食育を推進する条例」を平成28年12月議会で制定し、この条例の実効性ある施策の推進に取り組んで来ているが、その中で学校給食での状況について、条例制定以降の各年度の事務報告を見る限りでは、条例制定の効果が希薄に見えるがどうか。</p> <p>条例にかかわる施策そのものは充実が図られてきていると受け止めているが、食育にかかわる学校給食部門での取り組みの強化を求めるがどうか。</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
3	6	秋元英俊	一般質問	町長・教育委員会の教育長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 秋田県地域医療構想について</p> <p>2. 小坂町危機管理について</p> <p>3. 新型コロナウイルス感染症について</p> <p>4. プラスチック分別収集について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>1. 大館・鹿角地域医療が、大館総合病院地域救急救命センターで展開する方向で、かつの厚生病院との兼ね合いなど、小坂町として地域医療はどのような方向性でゆくのか。(小坂町では、救急搬送はかつの厚生病院の判断を基本としているが、心疾患については、24時間体制で大館救急救命センターが対応できる状況であることから、広域消防との打ち合わせとして、その方向性を明確にしているのか。)</p> <p>2. 現在、地域医療の充実を図ることの支援をかつの厚生病院に補助として支出しているが、この先、大館総合病院地域救急救命センターについて、地域医療支援等を計画しているのか。(県が、地域医療を大館・鹿角地域としてとらえている中での支援を、小坂町にも支援要請が来ることは考えられるのか。)</p> <p>1. 感染症に対応する事業継続計画(BCP)は、作成されているのか。 (役場及び教育委員会での事業継続計画(BCP)の策定。)</p> <p>1. 5歳から11歳へのワクチン接種について。(厚生労働省の配布する、ワクチン接種の効果や安全性を解説する小冊子を作製しているが、対象世帯に確実に配布する体制はできているのか。)</p> <p>2. り患された自宅療養者に対しての小坂町として独自の支援は考えているのか。</p> <p>1. 4月から施行される「プラスチック資源循環促進法」における、小坂町としての方向性は。 (新法に対して、基本的な考え方を構築し、スムーズに対処するべきと考えますが。)</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
4	3	本田佳子	一般質問	町長・教育委員会の教育長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 国道282号線濁川から苦竹間の道路状況と安全性について</p> <p>2. 新型コロナウイルス感染症の状況について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>1. 現在、安全に車両や人が通行できる状況にあるか。</p> <p>2. 危険箇所等の調査、情報収集するなど把握はできているのか。</p> <p>3. 拡幅工事が行われることに伴い、県に危険と思われる範囲や箇所に安全対策等の要望をしているか。</p> <p>1. 大館保健所管内での感染状況と対応はどうか。</p> <p>2. 感染者へのサポート状況と十分にケアができていますか。</p>		